

# 東京2020大会を契機とした働き方改革と 円滑な大会運営に向けた取組

平成31年2月1日  
東京都

# スムーズBizについて

新しいワークスタイルや企業活動の東京モデルを「スムーズBiz」とし、その定着を図るため、これまで進めてきた東京2020大会の交通混雑緩和に資する交通需要マネジメント（TDM）とテレワークや時差Bizなどの取組を一体的に推進していきます

## スムーズBiz

～新しいワークスタイルや企業活動の東京モデル～

### テレワーク

ICTを活用した、  
場所や時間にとらわれない  
柔軟な働き方のこと

快適な通勤環境や企業の生産性の  
向上を図り、全ての人々が生き生  
きと働き、活躍できる社会を実現

東京2020大会を契機として…

東京のレガシーに！

### 時差Biz

通勤ラッシュ回避のために  
通勤時間をずらす  
働き方改革のひとつ

東京2020 大会  
開催期間中における  
交通混雑緩和に向けた  
交通需要マネジメント

2020TDM  
推進プロジェクト

# 2020大会に向けた混雑緩和の取組について

大会本番に向け、混雑回避行動のPDCAサイクルを構築し確実に実施



## ● アクションプランについて

企業が業種や業務の内容に応じて、交通混雑緩和に取り組む内容を作成

### Step1

#### 取組の項目

- ・ 休暇の計画取得
- ・ テレワーク、時差出勤
- ・ 配送の工夫 など

### Step2

#### 取組の内容 (いつ、どのくらい)

- 【例：時差出勤】
- ・ いつ：オリンピック大会期間中
  - ・ どのくらい：社員の3割が  
オフピーク時間帯に出勤 など

### Step3

#### 取組推進の責任者、 実施の確認方法

- ・ どこが責任を持つか
- ・ 推進方法 など  
(今後、各企業と調整・検討)

- スポンサー企業などへ先行的に作成を依頼
- 作成・取組の支援として
  - ・ 手引き（ハンドブック）を公表（4月頃）
  - ・ 企業向けセミナー・コンサルティング、補助事業・融資等を実施
- 都庁版アクションプラン（取組の項目）を公表（平成31年1月25日）

# 2020大会に向けた混雑緩和の取組について

## 特に取組をお願いしていく項目（例）

<b>全ての企業に共通する事項</b> （約66.2万事業所） <ul style="list-style-type: none"><li>■ テレワーク（※）</li><li>■ 時差出勤（※）</li><li>■ 夏季休暇期間の時期変更（分散取得）</li></ul>	など
<b>運輸業に関連する事項</b> （約1.6万事業所） <ul style="list-style-type: none"><li>■ 大会時の混雑箇所等の迂回/時間変更</li><li>■ 臨海部における渋滞緩和に向けた取組への参加</li></ul>	など
<b>荷主となる企業に関連する事項</b> （約64.6万事業所） <ul style="list-style-type: none"><li>■ 商習慣の見直し</li><li>■ 納品・発注時期の前/後倒し</li><li>■ 異種品目の混載促進</li><li>■ 共同配送（館内物流）の促進</li></ul>	など
<b>販売業に関連する事項</b> （約15.8万事業所） <ul style="list-style-type: none"><li>■ サマーセール/お中元の早期開始</li></ul>	など

### ※都の主な支援

#### ○テレワーク

- ・業界団体向け：2020TDM推進プロジェクトに参加する業界団体と連携し、会員企業に対するテレワーク導入コンサルティング等を支援
- ・企業向け：都や業界団体が実施するコンサルティングを受けた企業に対し、テレワークの導入に必要な機器経費や制度整備等に対する費用を助成

#### ○時差出勤

- ・企業、通勤者向け：鉄道事業者へ混雑の見える化、臨時列車の増発などを働きかけ

#### ○共通

- ・企業向け：テレワークや時差Bizなど働き方改革に取り組む企業に対し、中小企業制度融資による資金調達を支援